

【CSW55 第5日目】2月24日(木)

【日 付】2011年2月24日、12:00

【場 所】Consulate General of Finland

【題 目】Helvi Sipila Seminar: She says YES to Education---South-North Dialogue

【主催者】Finnish Federation of University Women, National Council of Women in Finland, Coalition of Finnish Women's Associations NYTKIS, YWCA of Finland, Finland National Committee for UN Women

【内 容】フィンランド総領事、UN Women 課長補佐(統括)の挨拶、フィンランド文化スポーツ大臣のスピーチに続き、南を代表して世界 Y プログラムディレクターの Hendrica Okondo が、北を代表して英国の Cornelia Boldyreff 教授がそれぞれの地域の女性が抱える教育問題について紹介し、南北間の対話及び、パネルディスカッション、質疑応答を行った。南で少女の教育のアクセスを妨げているのは貧困、女子には教育よりも家事労働の担い手であることを期待されている、といった文化・社会的要因、ロールモデルの欠如、紛争などがあげられた。しかし、文字が読めなくても PC を無料配布して PC 操作を教えたり、発電所などインフラが整っていない地域でもソーラーパワーを利用するなど、クリエイティブな方法で若い女性と少女に教育の機会が与えられていることに励まされた。一方、先進国の女性であっても科学技術分野や企業の重役となるとまだまだ男性優位であるのが現状であり、クォータ制度等の施策が必要である。

【感 想】ケニア人の Hendrica の母親が 17 歳で結婚し 10 年間で 10 人の子どもを産み育て、1 人 1 人に教育の機会を与えてくれたという話に心を打たれた。ケニアの若い女性にとって Hendrica がいかにロールモデルであり、心強いメンターであるかがよく伝わった。(吉田)

【日 付】2011年2月24日、16:00

【場 所】SA Downstairs Room

【題 目】Mentoring Young Women for Leadership Through Partnership

【主催者】Avantu, YWCA Canada, Canadian Crossroads International

【内 容】カナダ Y 総幹事から世界 Y とカナダ Y における、運営委員会とスタッフに 25% 若い女性を登用するなどリーダーシップ養成への取り組みが紹介され、次にパートナー団体の Avantu から、女性の権利運動の高まりにも関わらず若い女性がこの問題にあまり関心を抱かなかったことから、若い女性に対して持続的なメンターリングのパートナーシップを構築したことを聞いた。カナダ Y からは他にも、少女たちが自由に考え行動する居場所作りや若い女性に政治に関心を持ってもらうために、積極的に投票所に行くよう呼び掛けるキャンペーンなど地域レベルでの試みの発表もあった。その後の質疑応答では世界 Y 代表団も自国におけるメンターリングプログラムを紹介した。

【感想】若い女性を Y の活動に参加させる上で大事な三要素とは、1) 少女と若い女性の居場所作り、2) 若い女性にイニシアチブをとる機会を与える、3) 若い女性を信頼し、尊重すること、という結論であったが、私の所属する地域 Y を始め、まだまだ日本では若い会員の増加、若い女性の登用が進んでいないのが現状である。これら先進的な取り組みを行っている Y の事例を学んで、地域に持ち帰りたいと思った。(吉田)

【日 付】2011 年 2 月 24 日、17:00

【場 所】2 UN Plaza DC2-1386

【題 目】Young Women's Caucus

【内 容】

CSW のドラフトについて考えて、付け加えたい言葉や変えたい言葉について話し合う

【感想】

参加者がみんな若いのにすごく自主的で驚いた。日本だとかこういった細かい言葉を変えたり、加えたりという作業は若い人に避けられがちに思うのだが、みんな積極的で、きちんと考えていてすごいと感じた。参加者のやる気と、今の現状を変えたいという強い気持ちがあうかがえた。(小山)

【日 付】2011 年 2 月 24 日、18:30

【場 所】General Assembly Hall 本会議場

【題 目】UN Women Launch Event

【主催者】UN Women

【内 容】

Ms. Christiane Amanpour, H.E.Mr. Ban Ki-Moon, Ms. Michelle Bachelet などたくさんの方のお話と映像などを見聞きした。最後は“ One Women ”という歌で盛り上がり終了した。

【感想】

チケットがないと入れないという話だったがジェシカが取ってきてくれて入ることができてラッキーだった。貴重な体験ができた。普通だったら入れないようなところに入ってしまった。今回の CSW に参加したおかげでこのような式典にも参加できて嬉しく思った。たくさんの方が集まっていて、お話をされる方も豪華だった。(小山)